

あの頃、僕らは確かにそこにいた

昭和の こどもたち

特別展

人形展

11月28日(土) 令和2(2020)年

1月16日(土) 令和3(2021)年

練馬区立石神井公園ふるさと文化館

〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16 TEL:03-3996-4060

開館時間:9:00~18:00

休館日:月曜日(ただし令和3年1月11日(月・祝)は開館、12日(火)は休館)、年末年始(令和2年12月29日(火)~令和3年1月3日(日))

観覧料:一般300(200)円、高校生・大学生200(100)円、65~74歳の方150円、

中学生以下と75歳以上の方は無料

* ()内は20名以上の団体料金

* 身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は一般150円/高校生・大学生100円

* 一般以外の方(無料、割引対象者)は年齢等の確認できるものをお持ちください。

アクセス:西武池袋線(東京メトロ有楽町線・副都心線直通)「石神井公園駅」下車徒歩15分または
西武バス(荻14)「JA東京あおば」バス停下車徒歩5分

主催:練馬区立石神井公園ふるさと文化館(指定管理者:公益財団法人練馬区文化振興協会) 制作:石井美千子 協力:株式会社アトリエみちこ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用・手指消毒・検温など、諸対策をお願いしております。また、状況によっては展覧会を中止することがございます。



練馬区立 石神井公園
ふるさと文化館
NERIMA SHAKUJIKOEN FURUSATO MUSEUM



マンジョ



ビー玉



けんか

昭和三十年代
暮らしは貧しかったけど
戦後生まれの僕らには
大勢の仲間と
ふるさと山河
悠久の海
豊かな自然があった

石井美千子（昭和のこどもたち原作者）

昭和28年
福井県福井市生まれ
造形作家
平成元年から「昭和のこどもたち」をテーマに桐
塑人形を作り始める

平成5年「昭和のこどもたち」展をはじめ、全国
100ヶ所以上で展覧会を開催しその動員数は
150万人を超える

石井美千子が生み出す人形は桐塑という技法で作られる。これは日本古来から伝わる制作技法で桐の粉に正麩糊を混ぜ、粘土状にしたものを油土で塑像した原型の石膏雛型に押し付けて造形する。乾燥後雛型から取り出し和紙を貼って岩絵の具で着彩。手足は桐粘土による直接塑造。服は人形に合わせ1点1点手作り縫製していく。こうして生まれた人形が64タイトル332体。それらの人形から昭和30年代が見事に立ち現れてくる。人形は「ひとがた」である。わずか40cmほどの小さな人形にも関わらず、その表情は従来の人形概念から離れ、どの顔も生き生きと豊かに輝いている。終戦後わずか10年余を経た時代。その時代を「こども」で過ごした人、母として父として過ごした人、「昭和のこどもたち」時代を生きた人々はこれらの人形を通じて時間の旅をする。それは懐かしくて大切な心の旅である。



ままこと



風の子



石神井公園ふるさと文化館・交通案内

〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16
TEL:03-3996-4060

- 西武池袋線「石神井公園駅」下車徒歩15分
 - 西武新宿線「上井草駅」下車徒歩25分
 - 西武バス「JA東京あおば」下車徒歩5分
 - みどりバス「JA東京あおば」下車徒歩5分
 - 西武バス「三寶寺池」下車徒歩2分
 - 西武バス「三寶寺池」下車徒歩2分
- ※一般利用者用駐車場はありませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。

相互割引 本展と練馬区立美術館「式場隆三郎展 脳室反射鏡」(令和2年10月11日(日)～12月6日(日))の間で、観覧料相互割引を行っています。会期中、それぞれの展覧会の半券を各館窓口でご提示いただくと、各種料金から100円引きまでご利用いただけます。(1枚につき1名様有効)
練馬区立美術館(西武池袋線「中村橋」駅下車徒歩3分 Tel:03-3577-1821)



友の会
会員募集!

展覧会ご紹介
[同伴者1名OK]
年会費2,500円



練馬区立 石神井公園
ふるさと文化館
NERIMA SHIKOKUBO FURUSATO MUSEUM